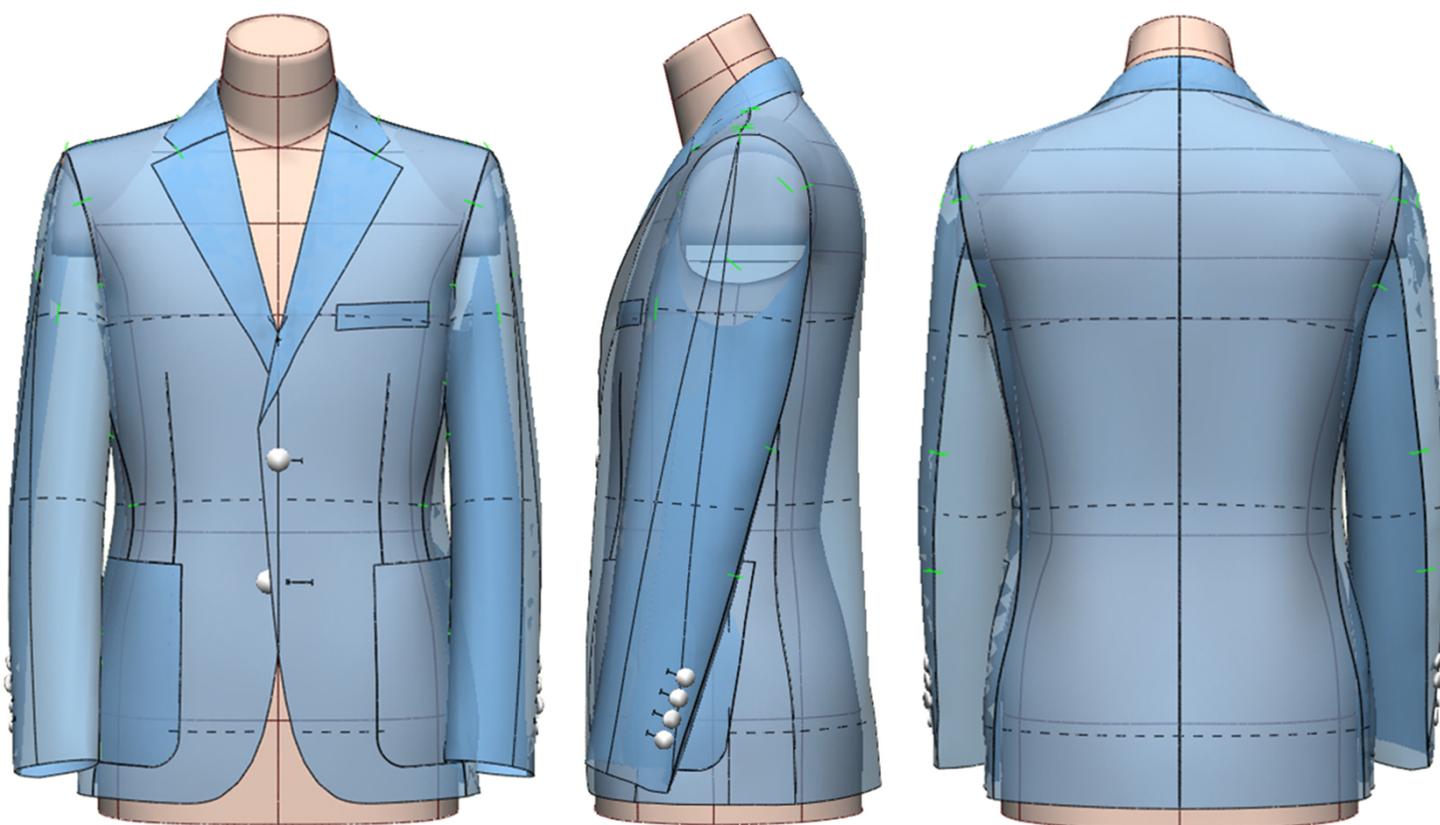
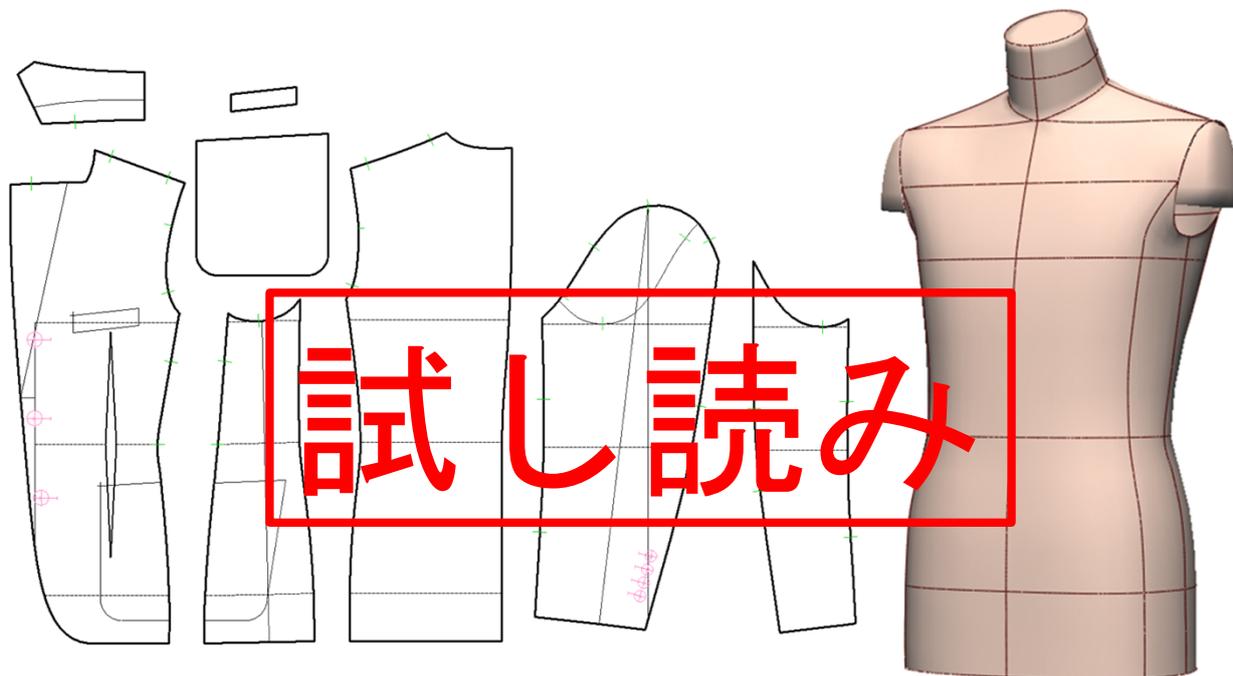


# 3面構成テーラードジャケットを極める Part2メンズ編 (Ver.7) 段返り三つボタン

東レACS(株)CREA COMPO IIのPattern Magic II、Pattern Magic II 3D  
Ver.7を使用したアパレルCADパターンメイキング技術書。



# 3面構成テーラードジャケットを極める Part2メンズ編 (Ver.7)

## 目 次

### 1.はじめに

- 1)本書の特色 2
- 2)実習し易い教材
- 3)デジタルトワルチェックの方法を重点解説
- 4)本書に同梱されている「メンズジャケット原型について」 3
- 5)ジャケット原型、完成デザインパターン・3Dデジタルトワルデータ 6

### 2.メンズCADデザインパターンメイキング

- (1)メンズジャケット原型を用意し、身頃ウエストパーツを移動する 8
- (2)3面身頃に分割し、パネル線をひく 9
- (3)デジタルトワルチェックで身頃シルエットを確認する 15
- (4)マニピュレーションで前後身頃をつくる 17
- (5)前後身頃の袖ぐり線、襟ぐり線をつなげてパターン整理する 26
- (6)袖を身頃のゆるみ入れに合わせて切り開く 28
- (7)切り開いた1枚袖を2枚袖にする 29
- (8)テーラードカラーを作成する 40
- (9)ポケットを作成する 54
- (10)釦とボタンホールを作成する 62

### 3.メンズCADデジタルトワルチェック

- (11)半身パーツを使い3Dメニュー[線情報の設定]をする 67
- (12)半身パーツを使い3Dメニュー[配置の設定]をする 76
- (13)半身パーツを使い3Dメニュー[PM7°リフォームの設定]をする 82
- (14)全身パーツを使い3Dメニュー[線情報の設定]をする 101
- (15)全身パーツを使い3Dメニュー[配置の設定]をする 104
- (16)全身パーツを使い3Dメニュー[PM7°リフォームの設定]をする 105

- 4.著者紹介 115
- 5.参考文献 116

# 1.はじめに

## 1)本書の特色

紳士服業界で行われている平面製図(囲み製図)を極力排して、本書では工業用メズボディである**東レACS\_メズ (セトイン)**から作成した「立体原型」を、使用します。切り開くいわゆる婦人服業界で一般化している「**フラットパターンメイキング**」方法を採用し、平面操作で作成したパターンの品質確認、修正を、3Dの「**デジタルワルチェック**」で行う画期的な**CADパターンメイキングシステム**を紹介しています。

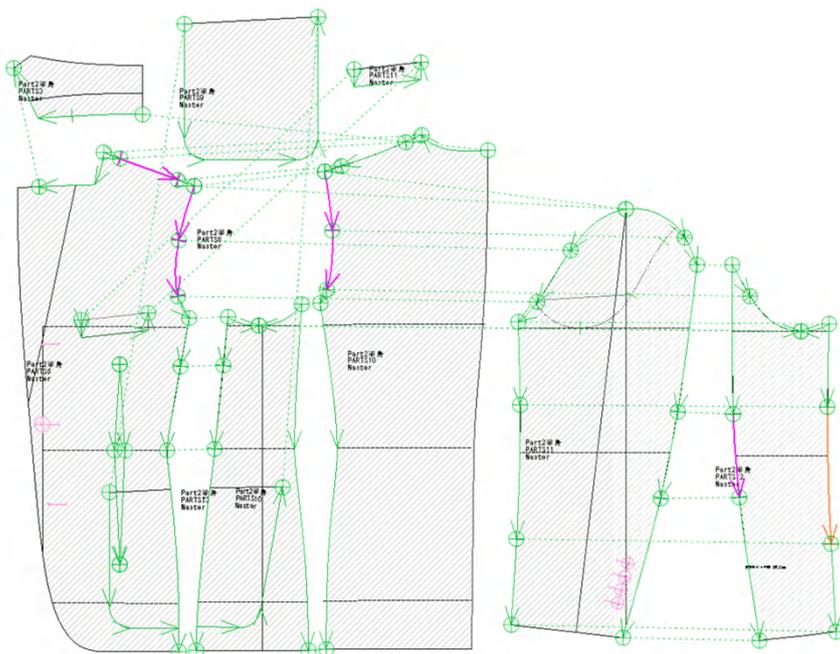
## 2)実習し易い教材

詳細な図解で丁寧な解説、初心者にとって解りやすい技術書を心掛けました。専門学校で指導した39年の経験が本書の技術解説に生かされています。PDF技術書をダウンロードしたら直ぐに実習できるように、同梱されている①ACS\_メズ (セトイン)からボディ展開した立体原型、②フラットパターンメイキングで作成した完成デザインパターン、③デジタルワルチェックの3Dデータなど具体的なデータ資料を確認しながら、CADパターンメイキングの学習ができます。

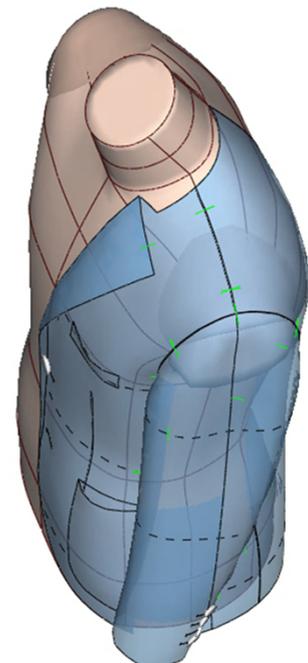
## 3)デジタルワルチェックの方法を重点解説

デジタルワル作成プロセスを(1)線情報設定、(2)配置設定、(3)PM7リフォーム設定の3工程に分け詳細な図解で重点解説、初心者でもワルの3D作成が容易にできる内容です。

線情報設定されたデザインパターン



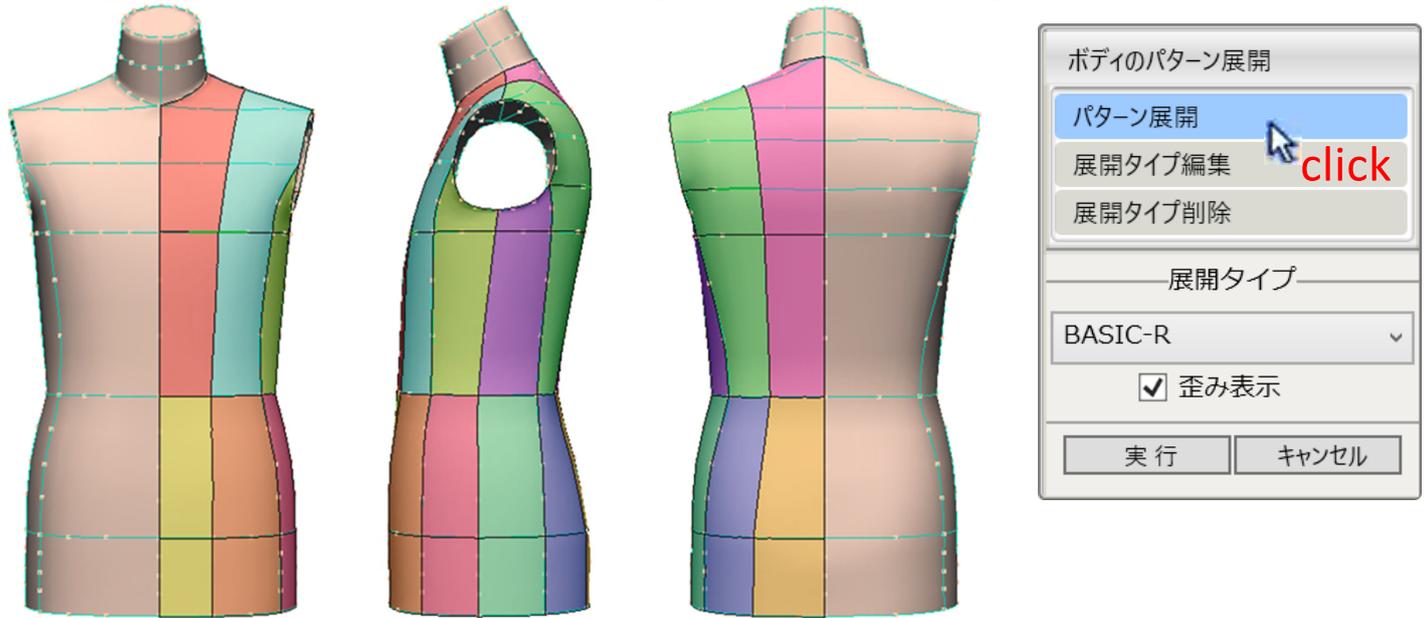
襟付け線のデジタルワルチェック



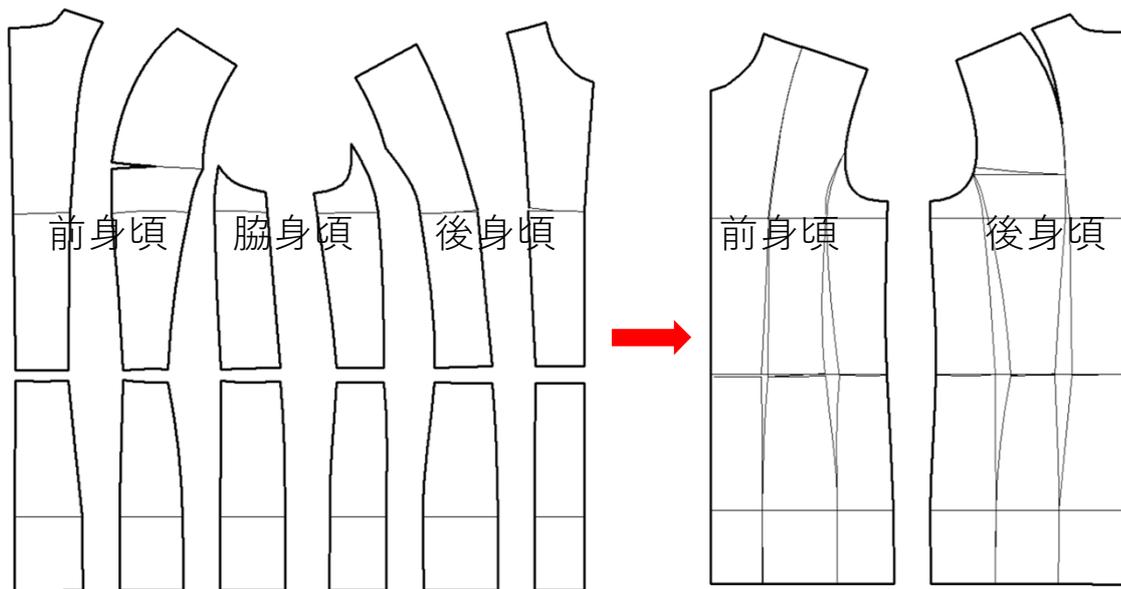
#### 4)本書に同梱されている「メンズジャケット原型」について

本書では、以下の方法で作成した原型を使用する。

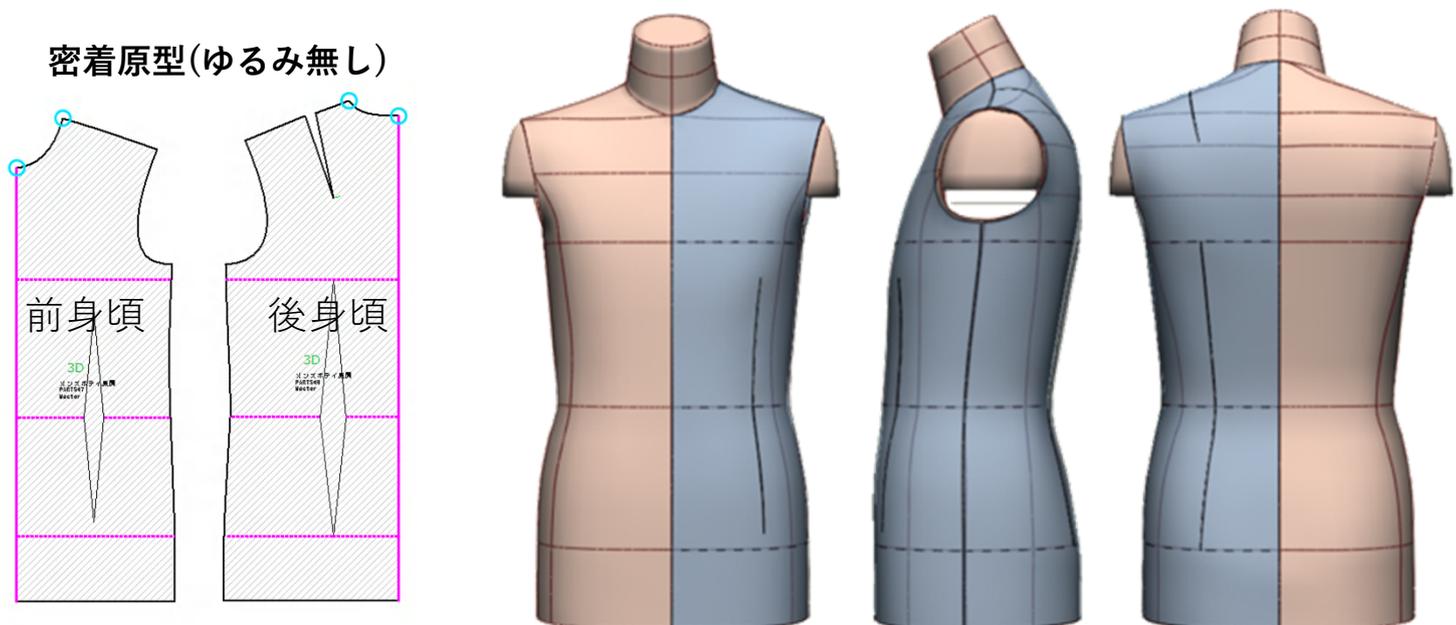
(1)ACS\_メンズ (セッティン)ボディを、3Dメニュー[ボディのパターン展開]で、パターン展開する。



(2)平面展開したパーツを、使い易いように統合して前後身頃パターンにする。



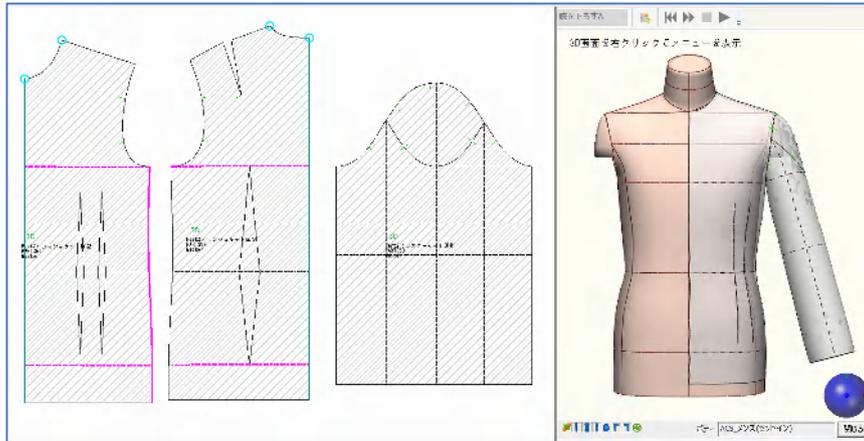
(3)密着原型(ゆるみ無し)前後身頃に整理して、デジタルワルチェックする。



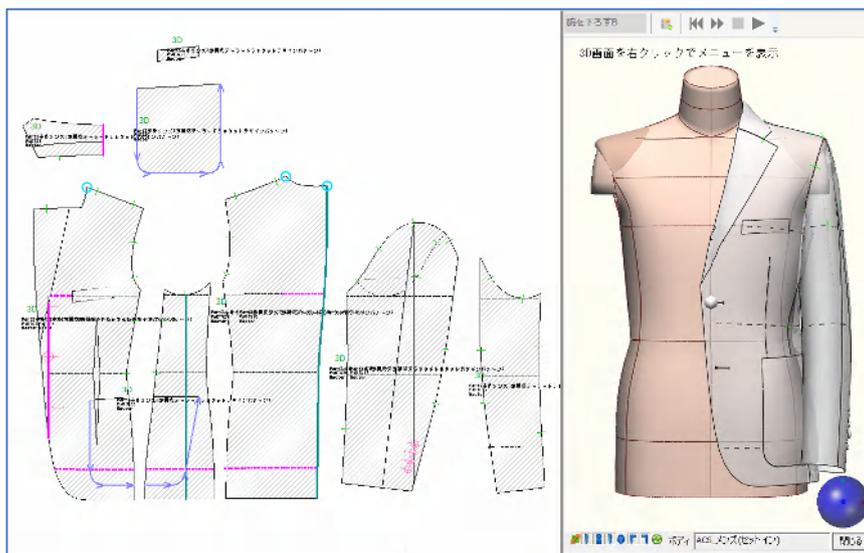
## 5)同梱のジャケット原型、完成デザインパターン・3Dデジタルワルデータについて

同梱されている(1)～(3)のデータを読み込み、原型としてまた参照データとして活用しCAD実習が可能です。100ページ 図98の手順により、登録してあるデジタルワルデータを復元できるので参考にして下さい。

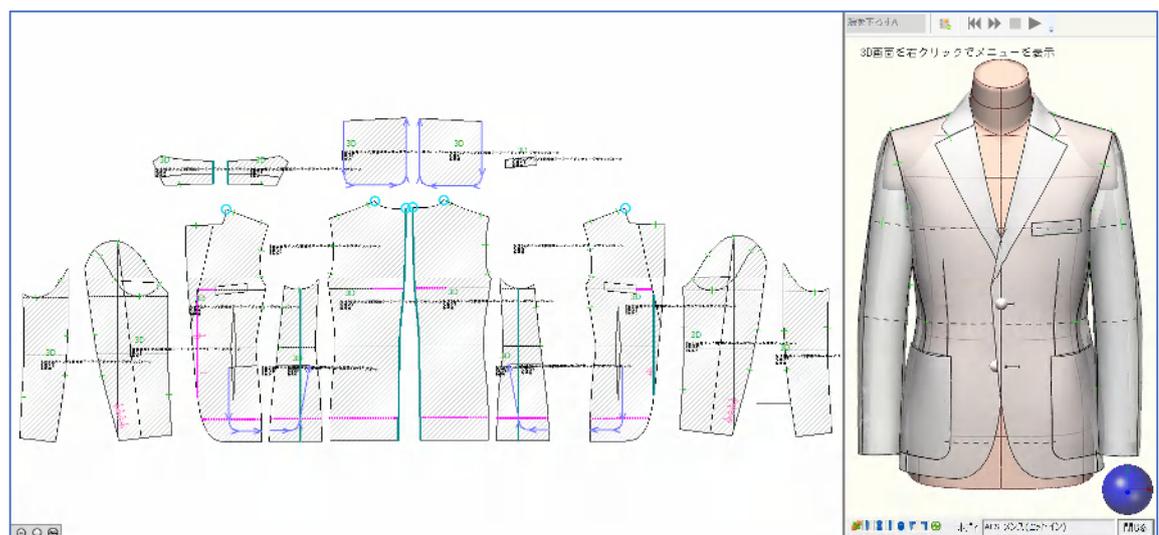
### (1)メンズジャケット原型とデジタルワルNo.001



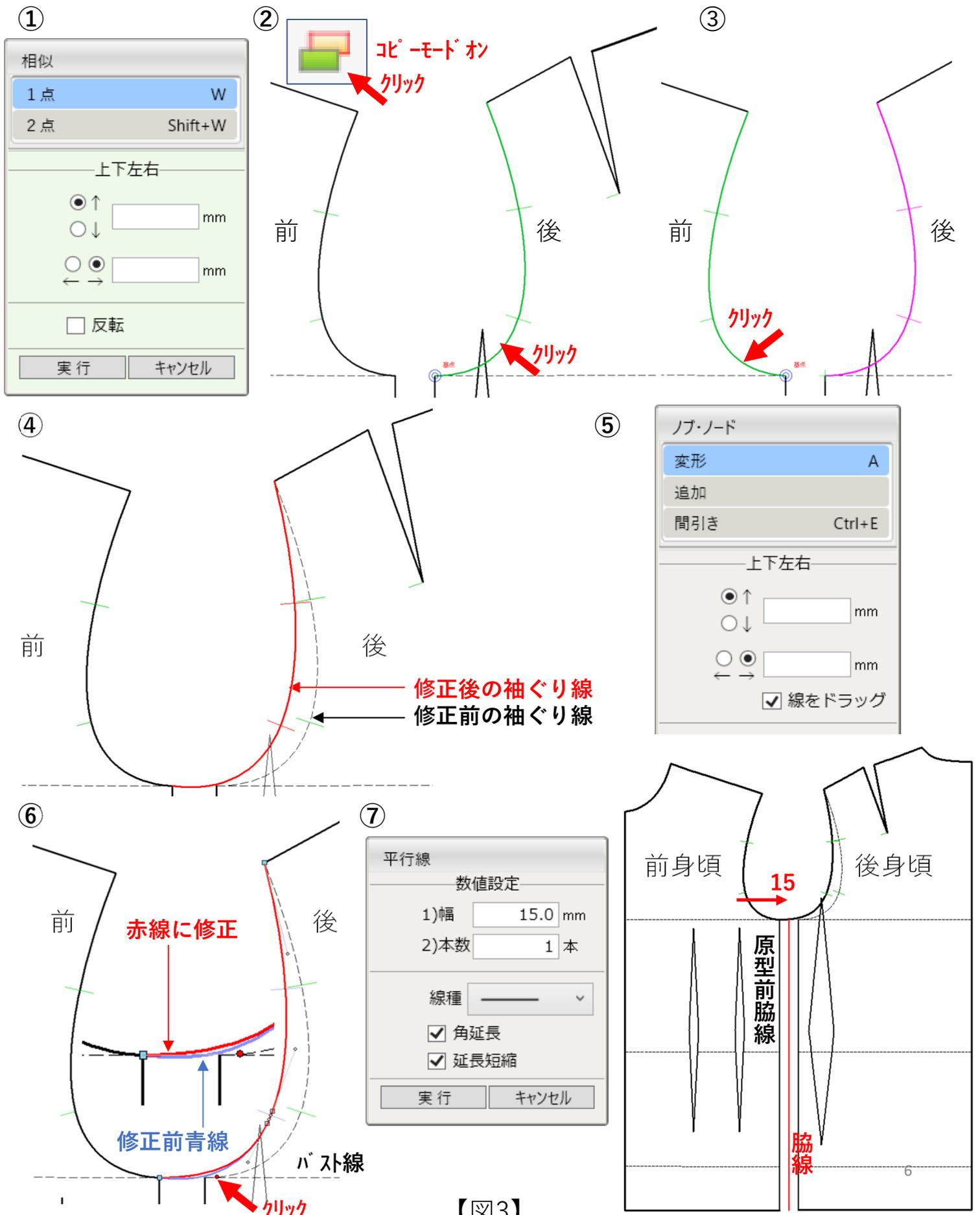
### (2)半身メンズ3面構成テーラードジャケットデザインパターンと半身デジタルワルNo.002



### (3)全身メンズ3面構成テーラードジャケットデザインパターンと全身デジタルワルNo.003



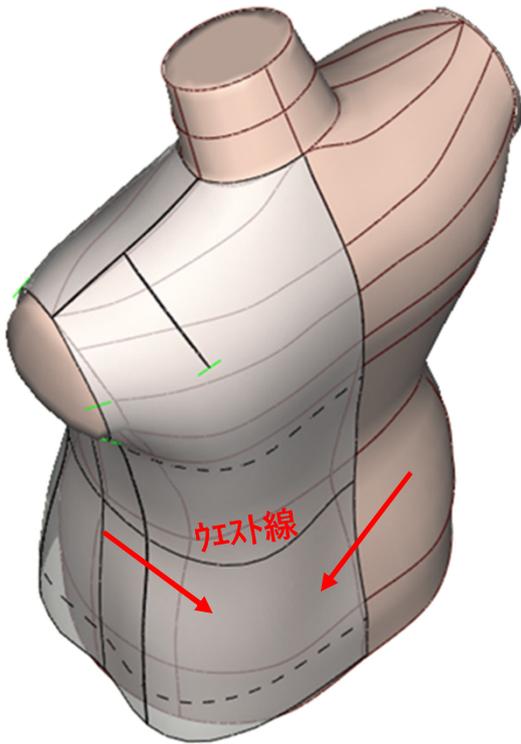
【図3】 ①W[相似1点]、コピーモードをオンで、②後袖ぐり線下基点側を移動元でクリック、③移動先を前身頃袖ぐり線基点側でクリック、④後袖ぐり線(赤線)基点が前身頃袖ぐり線基点に移動する。⑤A[ノブ・ノード]変形、線をドラッグで、⑥ハンドルをバスト線に合わせ、袖ぐり線のつながりを良くする(青線を赤線に)。⑦袖ぐり線を完成させ、O[平行線]15mmで、前脇線右側へ15mm平行線をひき、脇線(赤線)とする。



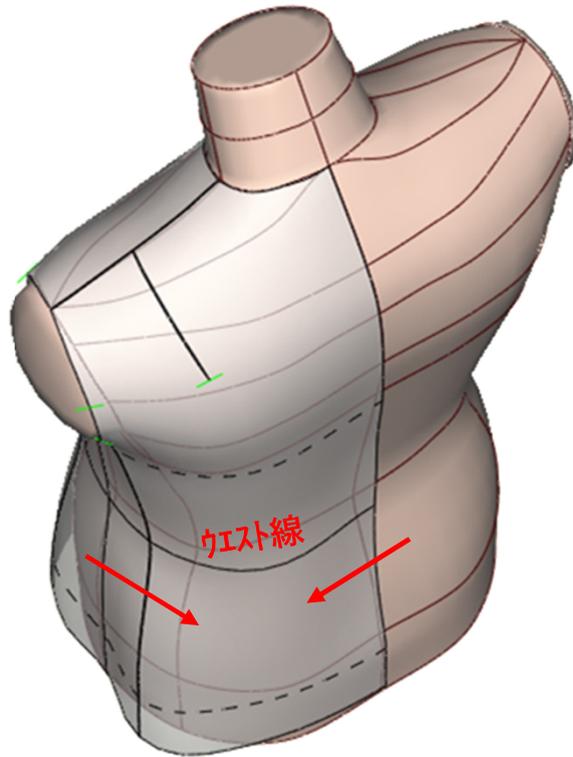
【図3】

【図9】 ①(イ)ウエスト線修正前、(ロ)修正後は前者と比較して膨らみが解消している。②斜め方向からチェックすると3面構成シルエットがきれいに作成されていることが確認できる。

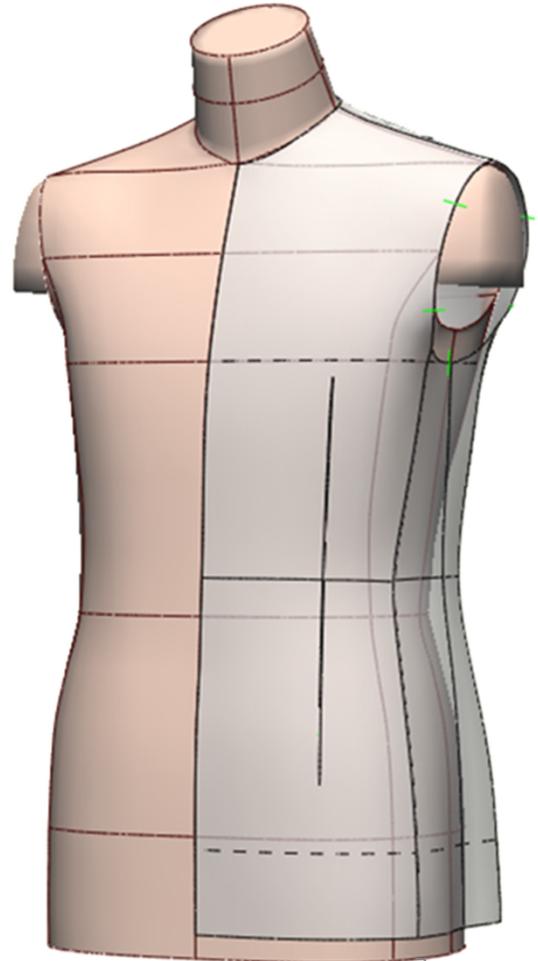
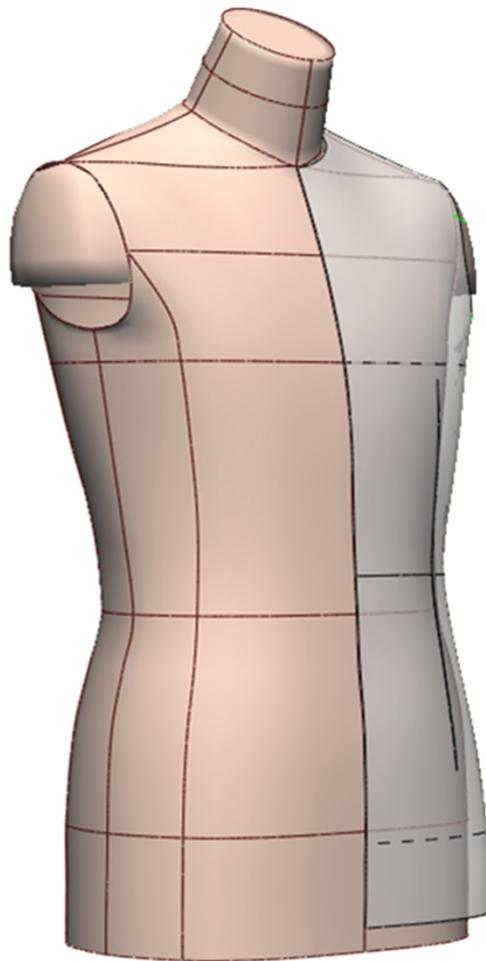
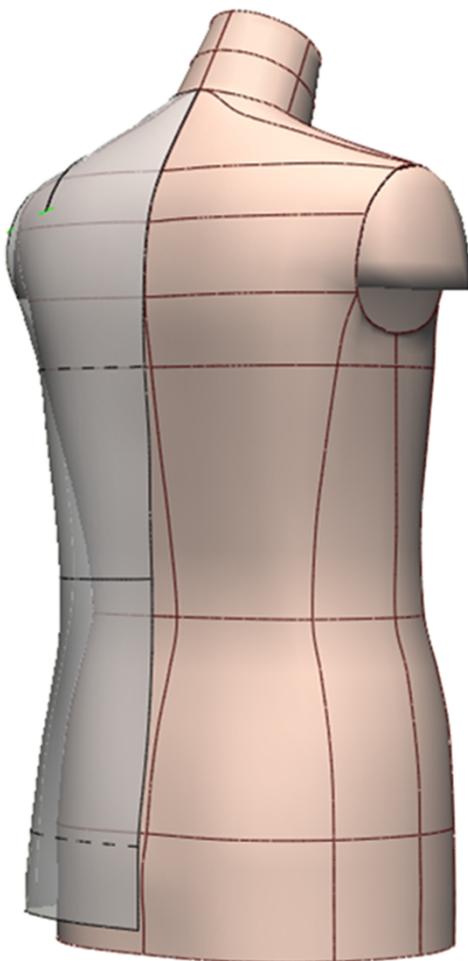
①(イ)ウエスト線修正前



(ロ)ウエスト線修正後



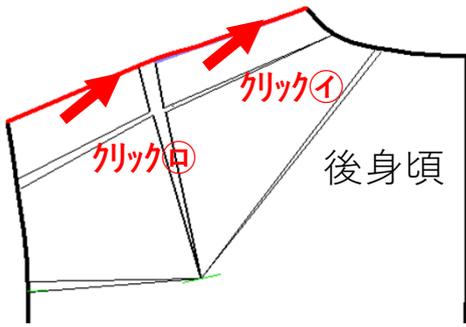
②ウエスト線修正後



【図9】

【図20】 ①後肩線をつなげる、②A[ノブ・ノード]間引きで、③①後肩線のノード(□)をクリックして□消す、④変形タブを押し、⑤①肩線を Klick、□ハンドルをインカーブ(凹線)にドラッグしてハ修正する。⑥E[消しゴム]で、切り開き線を消しパターン整理する。

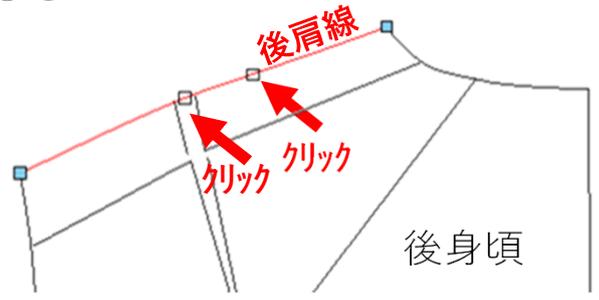
①



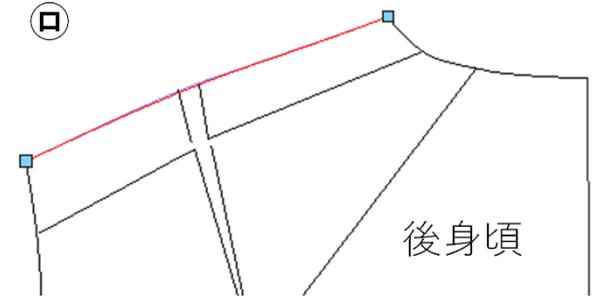
②



③①



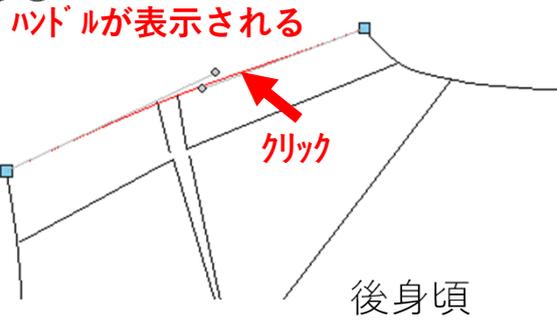
□



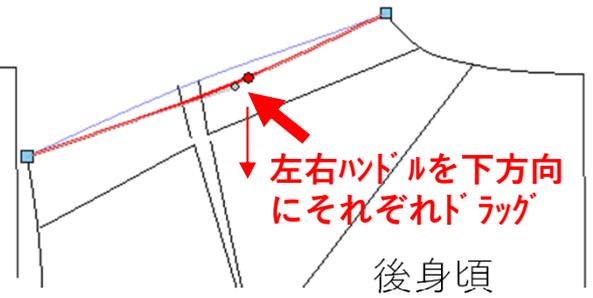
④



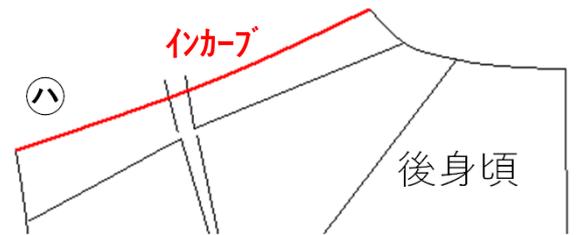
⑤①



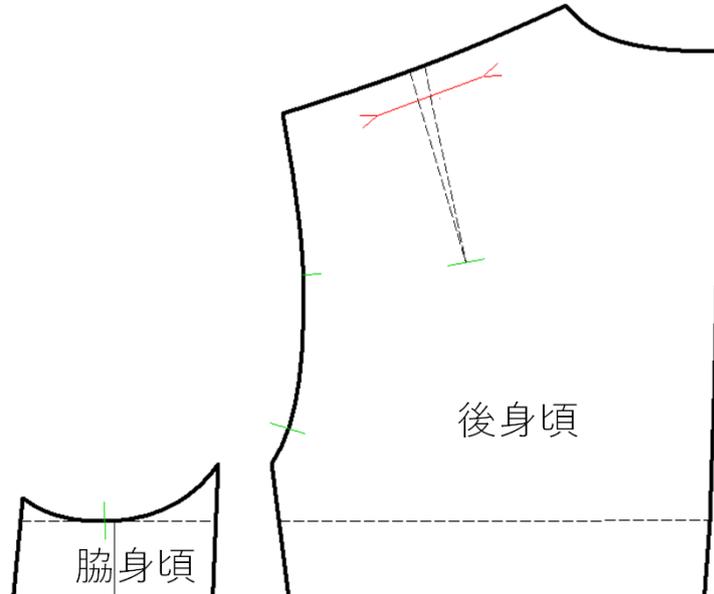
□



ハ



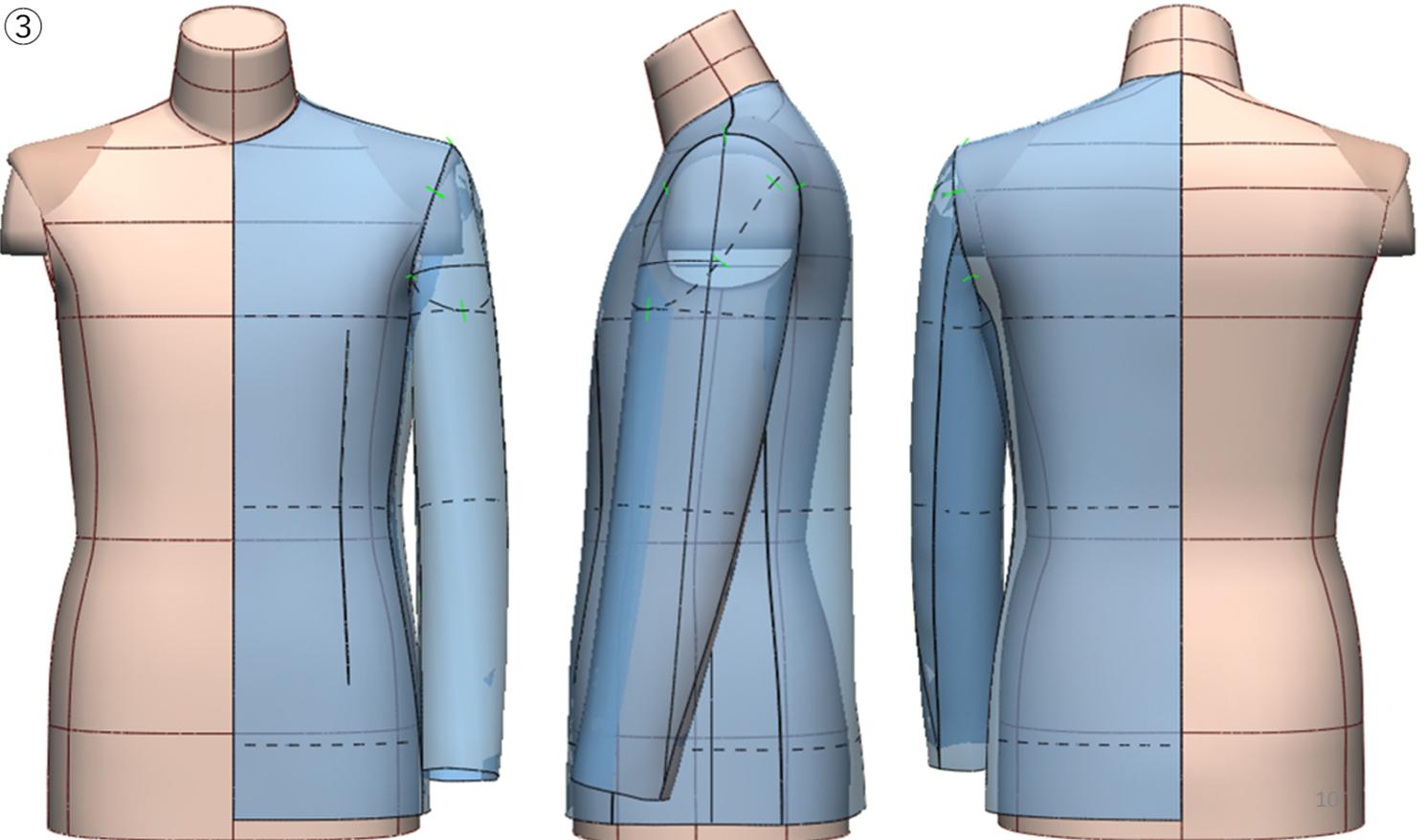
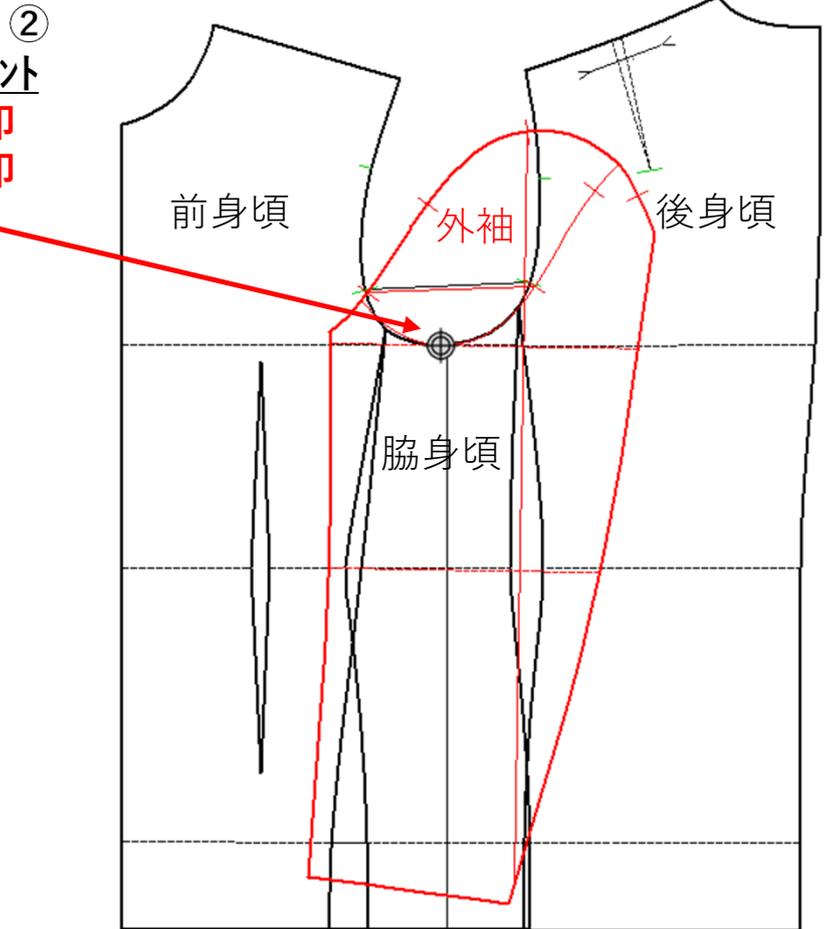
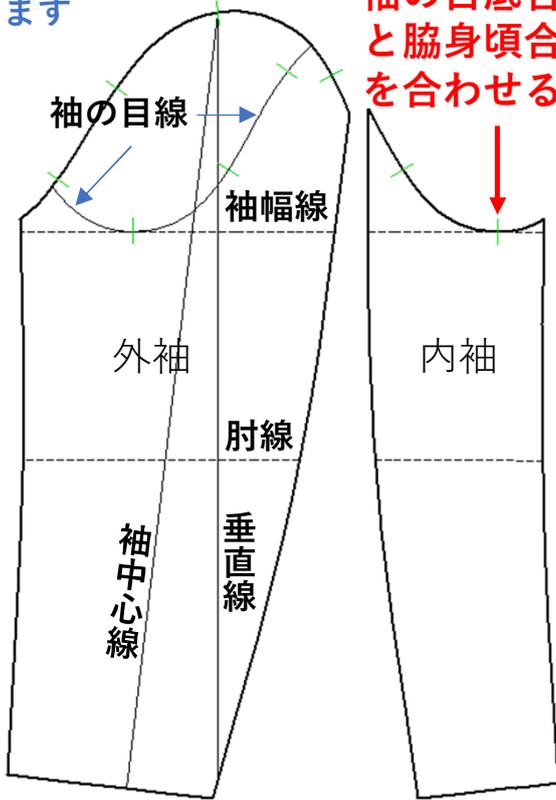
⑥





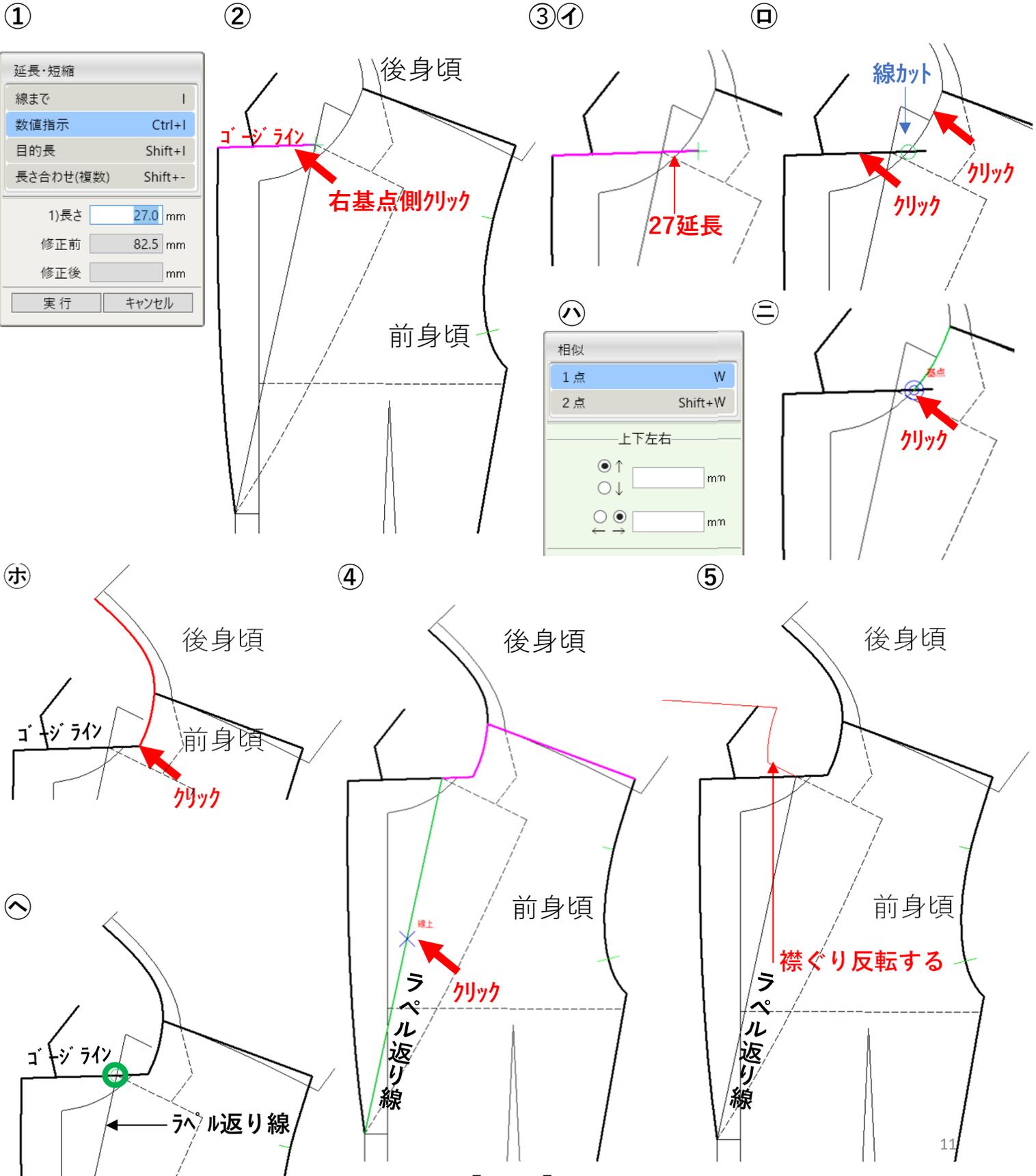
【図32】①E[消しゴム]で、外袖の袖幅線、肘線、垂直線、袖中心線、袖の目線以外の製図線をクリックして消す。②袖の目線を消さずにおけば、2Dパターンの縫合確認もできる。③3Dメニュー-[PM7 リフォーム]でデジタルトルを作成し、袖形状や据わり、振りのチェックする。本書では、完成したデザインパターンで解説するため、ここでのデジタルトル作成プロセスは省略している。

- ① これ以降解説の都合上、袖中心線を非表示とします  
 マッチングのポイント  
 袖の目底合印  
 と脇身頃合印  
 を合わせる



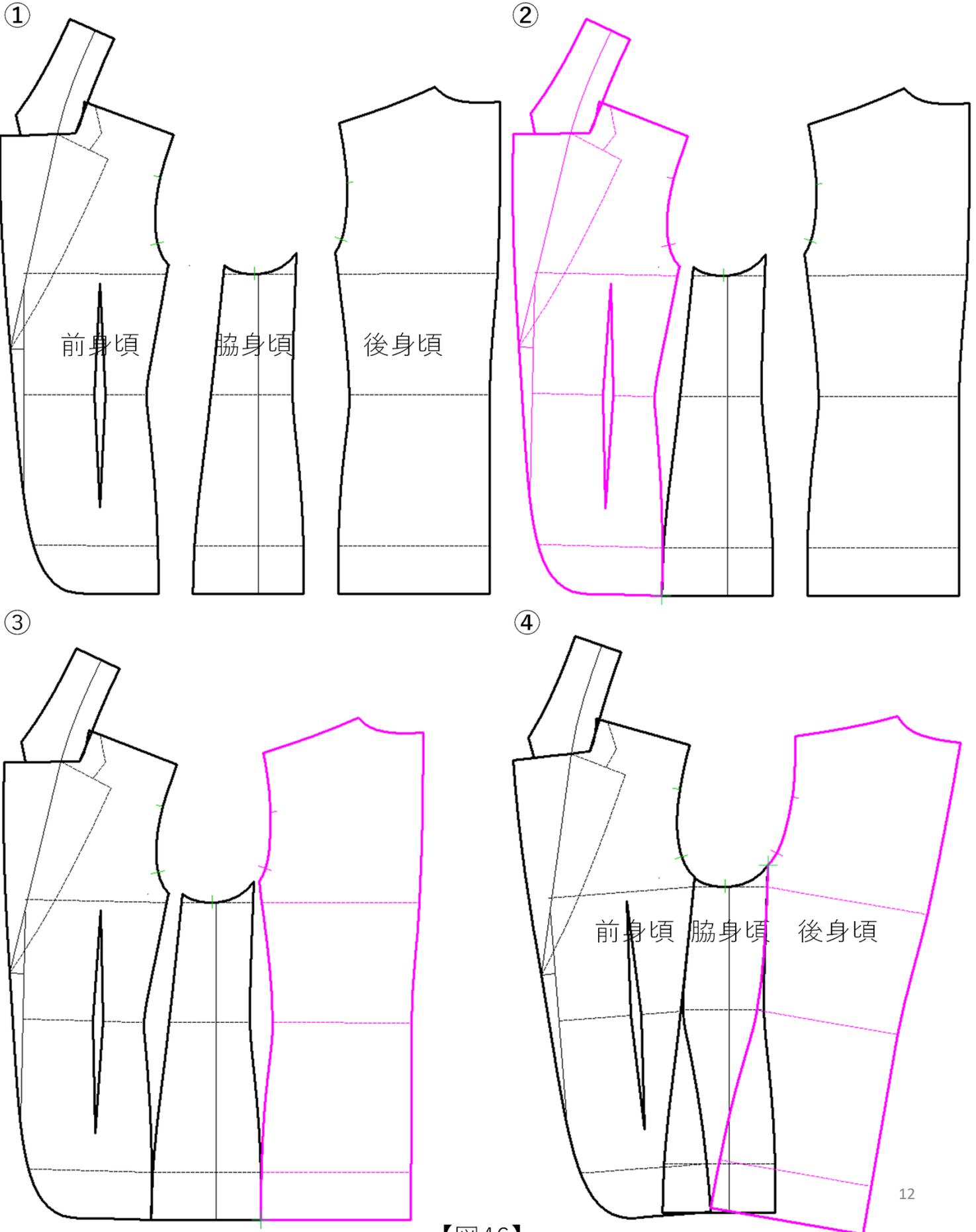
【図32】

【図39】①身頃のラペル・上襟線を点線に表示してある。CtrlとI[線の延長]長さ27mmで、②反転したゴージライン右基点側をクリック、Enterキーを押し、③①27mm延長する、ⓀX[交点カット]で、襟ぐり線を線カットし、ⓂW[相似1点]で、Ⓛ襟ぐり線基点を移動元としてクリック、Ⓨ移動先としてゴージライン右基点をクリック、衿付け線(赤線)が完成する、ⓍX[交点カット]で、ラペル返り線とゴージライン交点を線カットする。④ShiftとM[ミラー]で、肩線、襟ぐり線(ピンク線)をクリック、Enterキーを押し、ラペル返り線をクリック、⑤ラペル返り線をミラー軸に襟ぐりと肩線(赤線)を反転する。



【図39】

【図46】 ①前後脇身頃を用意し、②6[合わせ]で、前身頃をドラッグして囲み選択、パル線を合わせ元にクリック、脇身頃パル線を合わせ先にクリック、裾側から合わせる、③後身頃をドラッグして囲み選択、パル線を合わせ元にクリック、脇身頃のパル線を合わせ先にクリック、裾側から合わせる、④同様の方法で、前後身頃パル線を袖ぐり線側からそれぞれ脇身頃パル線に合わせて、袖ぐり線つながりを確認する。



【図46】

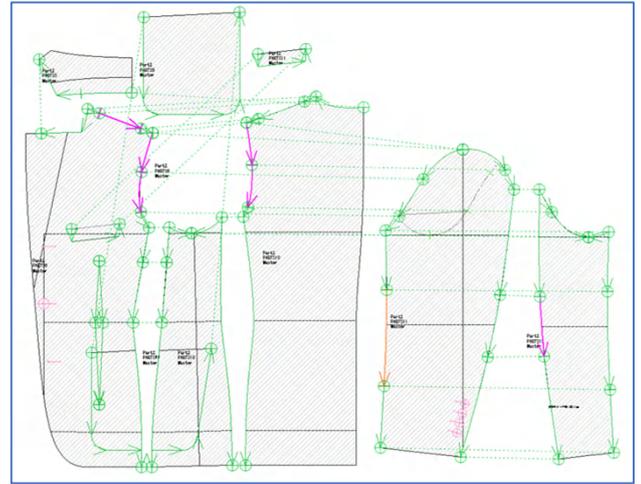
3D(デジタル)によるパターンチェックのことを、本章では**デジタルチェック**という。  
この章では、半身パーツと全身パーツそれぞれを使った場合に分けて、デジタル作成について解説する。

## デジタル作成の3段階プロセスについて

### (1)線情報の設定

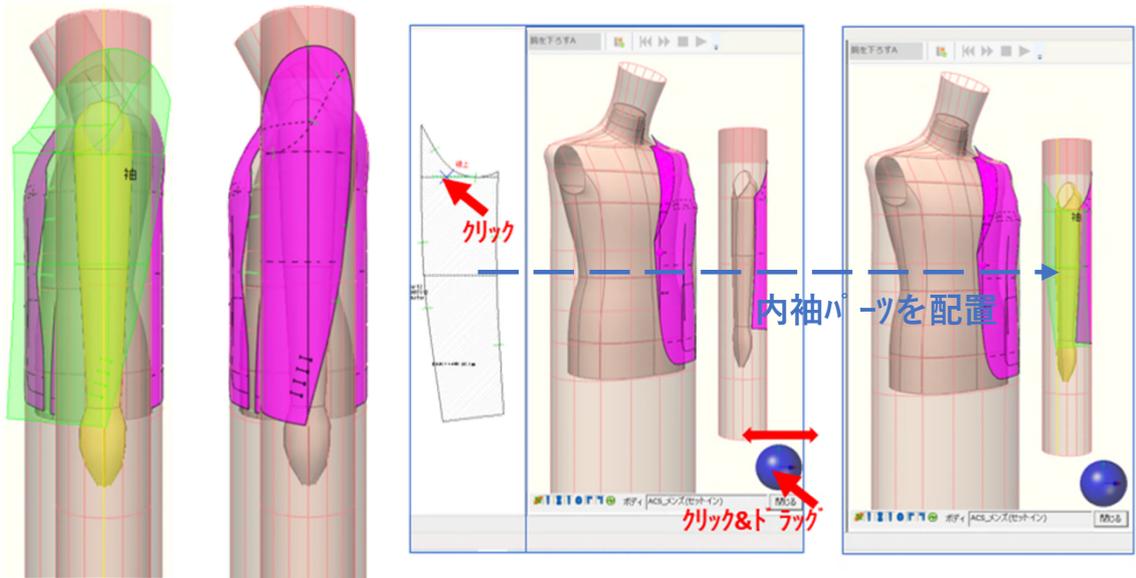
Pattern Magic IIで作成したデザインパターンの半身パーツ(全身パーツも有り)を縫合設定する。

- ①縫合線(肩、パネル、袖付け、2枚袖、衿付け、ポケット付けなど)
- ②ダーツ(前ウエストダーツ)
- ③いせ込み(肩線、外袖接ぎ線)
- ④伸ばし(外袖接ぎ線)
- ⑤ヘルターン線と上襟腰線など



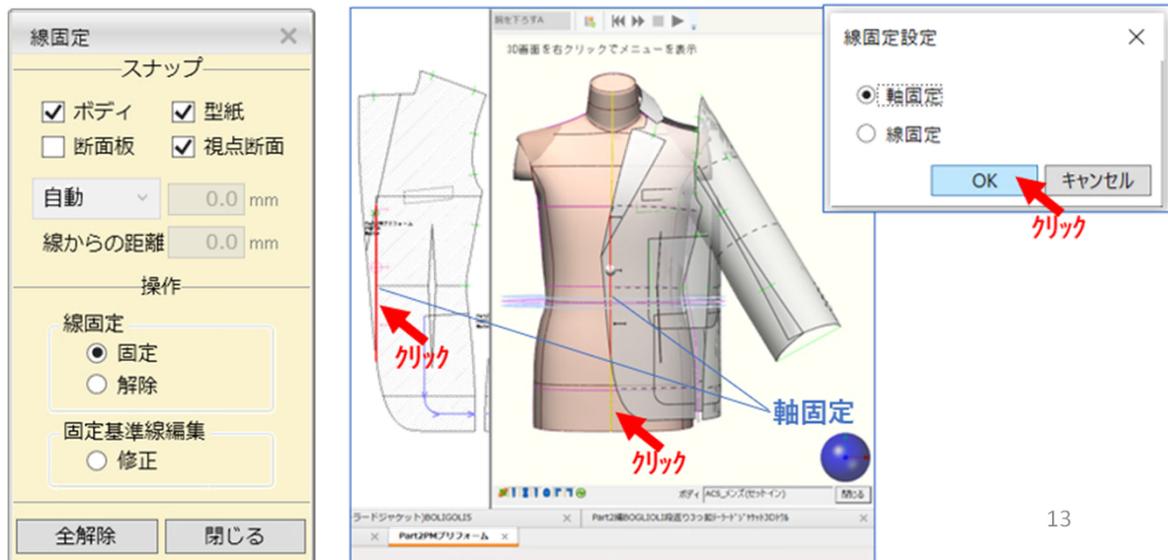
### (2)配置の設定

- ①重ね順設定
- ②配置方法など



### (3)PMリフォームの設定

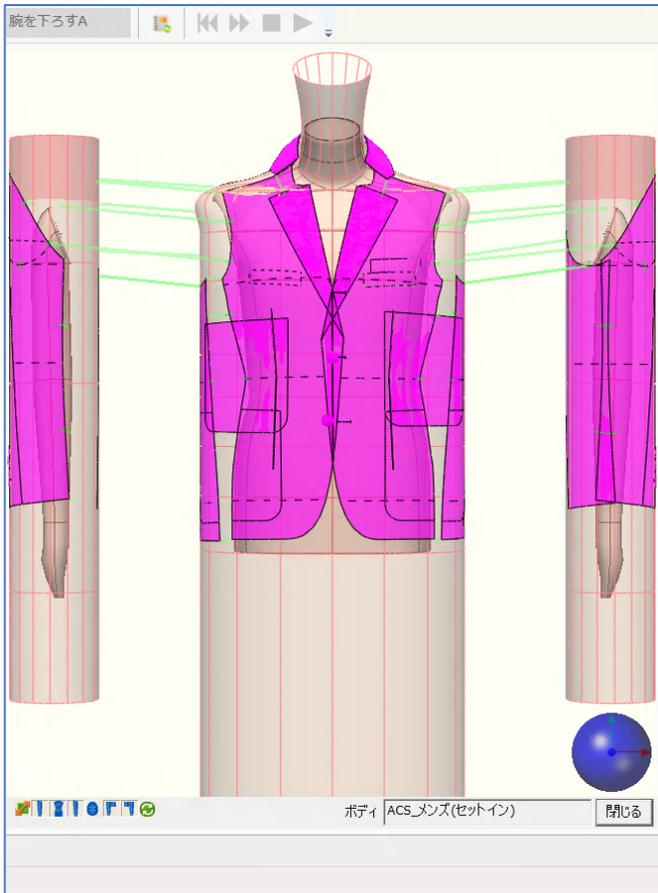
- ①固定基準線
- ②固定基準点
- ③軸固定
- ④線固定
- ⑤腕下ろすタイプB選択
- ⑥引っ張り
- ⑦素材厚さ
- ⑧パーツミラー設定
- ⑨保存と復元など



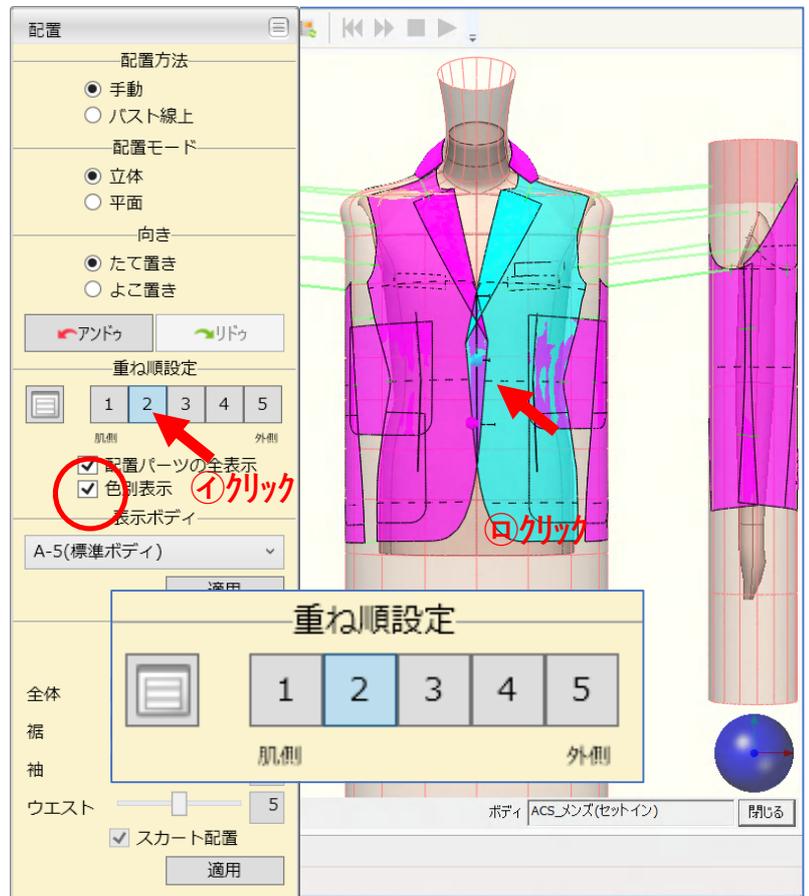
# (15)全身パーツを使い3Dメニュー[配置の設定]をする

【図95】 ①右側パーツを手動でボディに配置し、②①色別表示(赤丸印)にチェックを入れ、重ね順設定2(数字が大きい程ボディより外側に配置)のタブをクリック、③左前身頃をクリック、④腰ポケットをクリック、⑤配置設定完了。

①



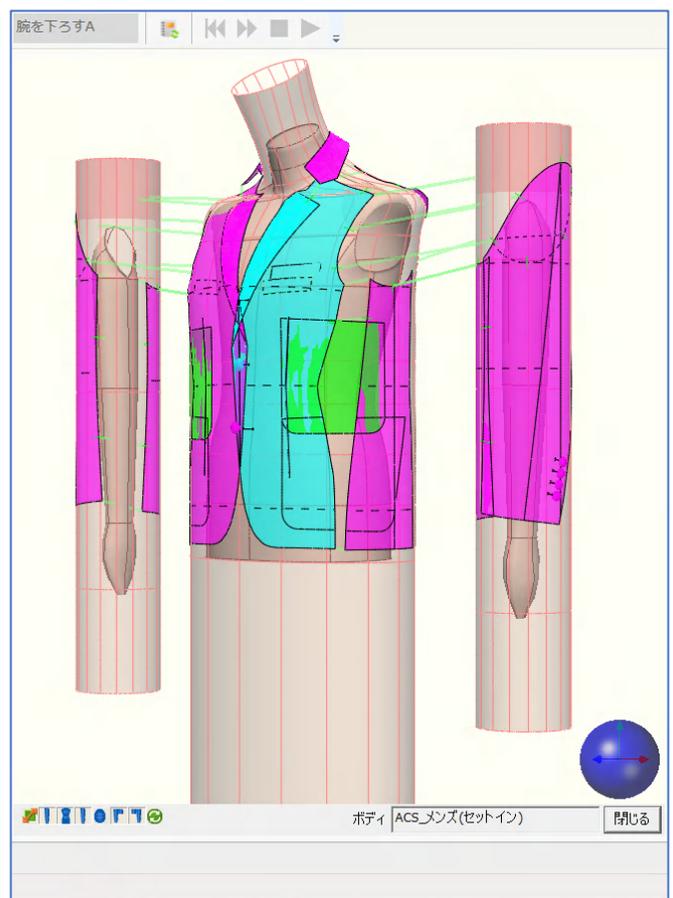
②



③



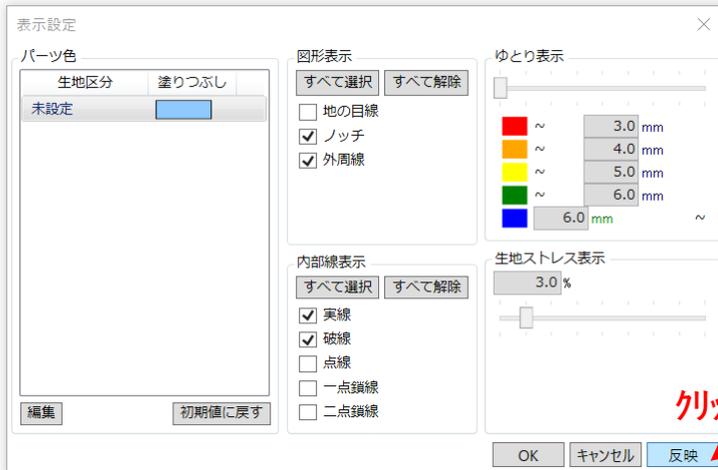
④



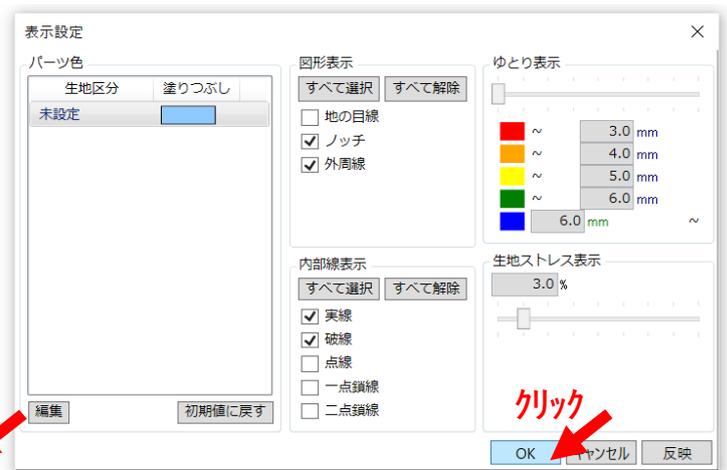
【図95】

【図105】 ①①反映タブ をクリック、ⓀOKタブ をクリック、②①無色タブ をプルダウンして、塗りつぶしタブ をクリック、Ⓚデジタルツールがサックス色になる。Ⓚオプションタブ をクリック、Ⓚ配置パーツの不透明度を50~100で設定する。下図は、50で設定例。

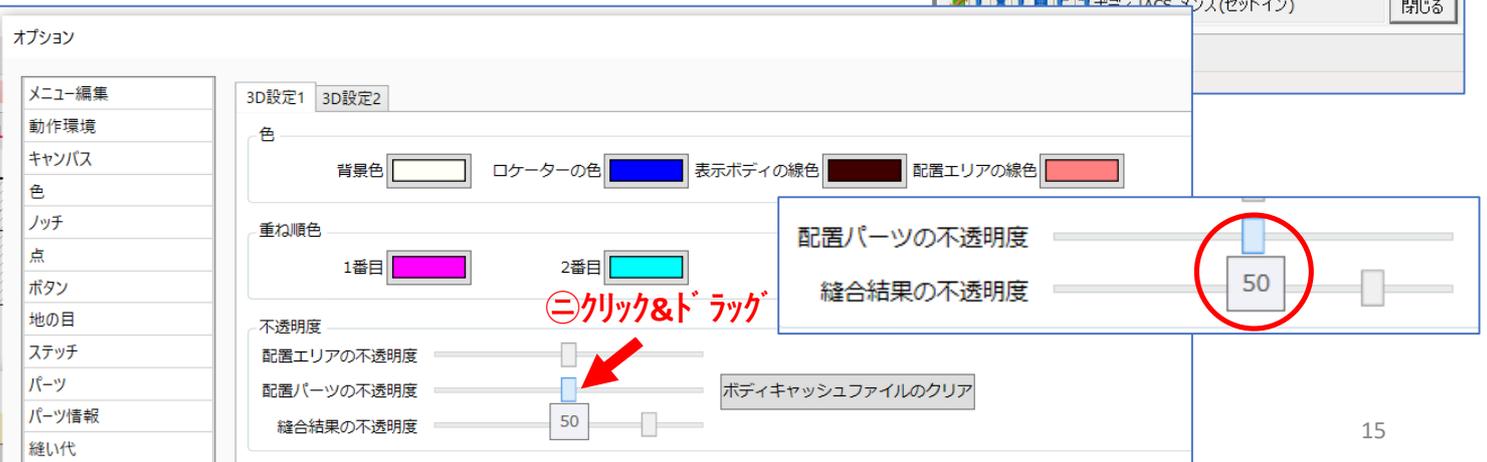
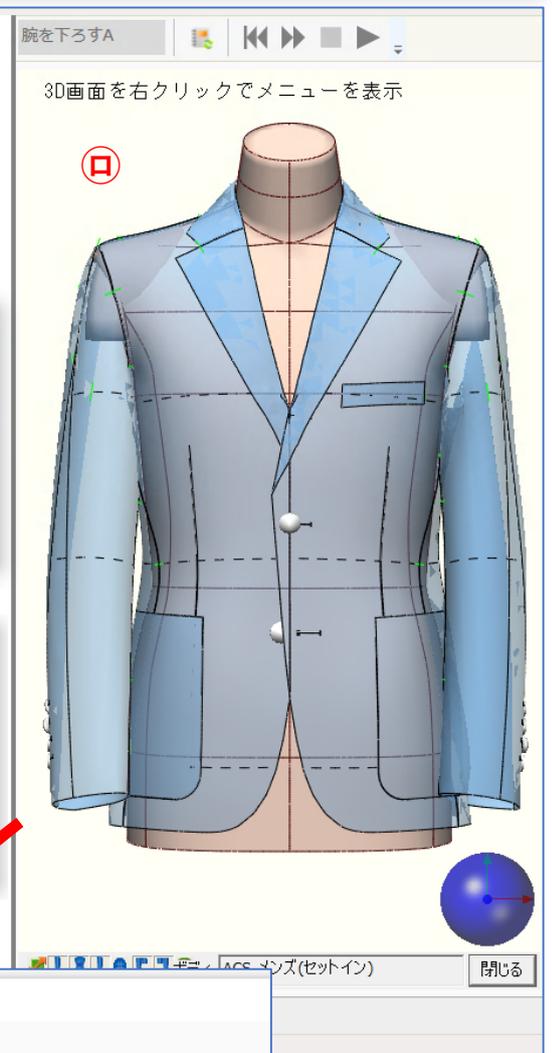
①①



Ⓚ



②



【図105】

## 著者紹介

## 関川 政春



専門学校のアパレルCAD教育に39年間携わった経験を生かし実践的な教育方法確立を目標にしています。

「デジタルトワル」は、その取り組みの一つです。

- 1969年 武蔵野美術大学短期大学部デザイン科芸能デザイン専攻アパレルデザインコース  
(美大初のアパレルデザイン課程)卒業
- 1969年 田宮夕美子デザイン研究所の助手として勤務  
アメリカ既製のドレーピング、パターンメイキングなどの技術を研究 同所教育  
講座「アパレル企業対象のグレーディング」講師も務める
- 1970年 (株)関川で、メンズニットのデザインとパターン担当
- 1972年 新潟県にあるカモトリコ(株)商品開発センターに勤務  
アパレル各ブランドのOEM生産縫製仕様書、工業用パターン作成など製造技術標準化、  
高度化を図った
- 1976年 同社商品開発センターのアパレルCADパターン室長に就任  
OEM婦人服および婦人ニットスーツの工業パターンメイキング、グレーディングを手  
がける
- 1983年 新潟総合学院に入社し、新潟デザイン専門学校ファッションデザイン科主任に就任
- 1985年 その在職中、新潟県繊維協会主催の五泉ニット企業デザイナー、パタンナー向けの  
立体裁断パターンセミナー講師を12年間務める
- 1990年 同校から分離独立した新潟ファッションビジネス専門学校の教務部長就任、  
ファッション分野のカリキュラム充実、特にアパレルCAD教育(シノマ、パトリエ)の  
高度化に尽力した
- 2002年 国際トータルファッション専門学校(新潟FB専門学校の校名変更)の校長に就任
- 2007年 事業創造大学院大学・事業創造研究科卒業、経営管理修士MBA取得
- 2016年 ファッションビジネス学会全国大会で、「デジタルトワル」を活用した  
「婦人テーラードジャケットのパターン&3Dシミュレーション検証」を発表  
本書の発刊は、この研究成果がベースになる
- 2017年3月 同校校長を定年退職  
引き続き、同校の非常勤講師アパレルCAD教育(CREA COMPO II)に携わり現在に至る

## 参考文献

- 大野順之助著 パターンメイキングの原理(1990) 株式会社アミコファッションズ
- アミコ・パターンメイキング叢書
  - ジャケットのパターンメイキング 小山千暁著(1987)
  - アウトドア・ウェアのパターンメイキング 野上均著(1987)
- 加藤ユキヨシ著 立体裁断の基礎理論(2002)
- パターンメイキング技術検定試験ガイドブック(2002) 財団法人日本ファッション教育振興協会編纂
  - 3級、2級、1級 プロダクト・パターンメイキング
- 文化ファッション大系 アパレル生産講座⑤ 工業パターンメイキング 文化服装学院編(2008)
- ジャケットのパターンメイキング基本編 パターンメイキング技術検定1級副読本(2014)
  - KFGC特定非営利活動法人関西ファッションカレッジコンソーシアム
- PATTERNMAKING for fashion design HELEN JOSEPH ARMSTRONG 著

### I. 知的財産権について

本書に収録されているコンテンツは、各国の著作権法及び関連する条約等で保護されています。したがって、本書の情報を承諾なしに複製、改変、配布などを行うことはできません。個人的な利用を目的とし、本書をコピーすることは構いませんが、これを他の資料や印刷媒体に転載することはできません。その他著作権法で認められている範囲を超えて、本書に収録されているコンテンツを著作権者に無断で使用することはできません。

### II. 商標一覧と記述について

本書の記述については、商標とは別に略称・別称を用いて記述しています。表1に本書で使用している略称・別称の一覧を示します

表1略称・別称一覧

商標	読み方	本文中の略称・別称
CREACOMPO®	クレアコンポ	CREACOMPO
PATTERN MAGIC®	パターンマジック	Pattern Magic、PM
CREACOMPO® II	クレアコンポツー	CREACOMPO II
PATTERN MAGIC® II	パターンマジックツー	Pattern Magic II、PM II
デジタルトワル™	デジタルトワル	デジタルトワル、デジタルトワルチェック

※CREACOMPO、PATTERN MAGICは東レACS株式会社の登録商標または商標です。

### III. ソフトウェア画像について

本書で説明している「デジタルトワル」の作成方法及び処理手順は東レACS株式会社「CREACOMPO II PATTERN MAGIC II 3D」のVer.7.0.0.0を使用しています。

## 『3面構成テーラードジャケットを極めるPart 2 メンズ編 Ver.7』

2022年01月 第1版発行

著者 関川政春

